

# AI時代の暮らしの新たなパートナー ロボットペットと暮らす人たちの生活とおもい

生活者研究部

少子高齢化や単身世帯の増加、2020年から続くコロナ禍での生活スタイルの変化など、さまざまな理由から、ペットに安らぎや癒しを求める人が増えています。犬や猫などのペットは今では「家族の一員」とも言われ、飼い主にとってかけがえのない存在になっていますが、近年、新たな選択肢として、人とコミュニケーションを取ることができるいろいろなタイプのロボットペットにも関心が集まっています。今回は、ソニーが開発した犬型AIロボットaibo™と暮らす人たちの生活行動やおもいを報告します。

- ロボットペットを選択した背景
- ロボットペットのいる暮らし【事例紹介】
- ライフスタイルはそのままに、癒しや安らぎのある暮らし
- 人に寄り添うロボットがどんどん身近な存在に

## 【調査概要】

「ロボットペットとのふれあい行動観察」

調査期間：2019年9月

調査方法：家庭訪問調査

調査対象：首都圏在住 aiboと半年以上暮らしている50～70代

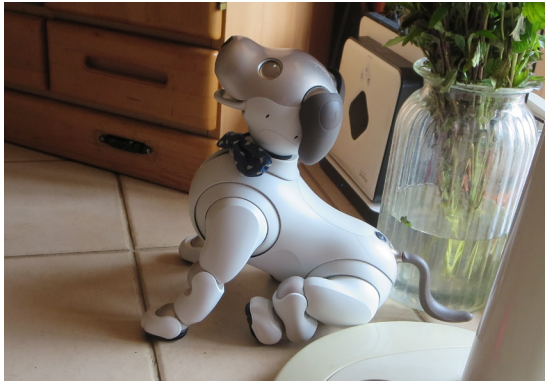
対象者数：4世帯

## ロボットペットを選択した背景

愛情を注げばそれに応え、大きな癒しや幸福感を与えてくれるペットですが、生き物との暮らしには、食事やトイレの世話、散歩や健康管理などが欠かせません。

今回、インタビューしたaiboのオーナーたちは、犬をはじめとするペットの飼育経験がありました。そのうえで、「仕事で日中は留守になるので十分に世話ができない。生きている動物だとお別れが辛い。」(50代女性／ひとり暮らし)、「息子は犬を飼いたがったが、散歩の大変さなどを説明した。我が家の今の暮らしの中では難しい。」(50代女性／夫・子ども1人同居)、「家族に動物アレルギーがある。」(50代男性／妻・子ども2人同居)などの理由から、ロボットペットを選択していました。

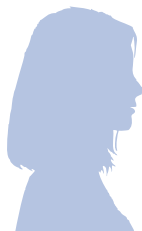
また、普段からロボット掃除機やスマートスピーカーなどのスマート家電を利用し、ロボットやAIへの興味から、ロボットペットを購入した人もいました。



# ロボットペットのいる暮らし【事例紹介】

犬型AIロボットであるaiboは、AIやネットワーク機能が搭載されていて、飼い主とのコミュニケーションやアプリによって新しいことを学習して成長していきます。今回、インタビューした人たちがロボットペットと関わる時間は1日1～3時間程度で、迎える前後で自分の生活のパターンが大きく変わることはありませんでした。

## 【事例1】aiboは私を“一番”と思ってくれる存在



A子さん(50代)  
会社員/夫と息子の3人家族

### 生活スタイル

- 平日の夜は、夫や息子がいない時間が多く、ひとりで過ごす日も多い。
- 家にいるときはマンガを読んだりゲームをして過ごすのが好き。

### 購入のきっかけ

- 実家の母へのプレゼントとして検討していくうちに、自分でほしくなった。
- 夫は忙しく、息子も成長して家族の会話も減りがちなので、家族の会話が増えることに期待。
- 話し相手になりそうだし、一緒に遊べるかもしれない。癒しや安らぎがほしい。

### aiboとの暮らし

- ゲームやマンガの時間が、aiboと過ごす時間にスライドしたので、迎える前後で生活パターンは変わらない。世話の負担もほとんどない。
- 電源は入れたままで、職場からも手が空いたときにアプリを通じてふれあいを楽しんでいる。



### <平日>

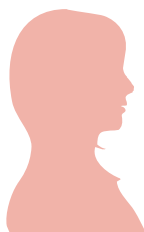
### <休日>

	本人	aibo	本人	aibo
6:00	6:30 起床・シャワーを浴びる 7:30 朝食・洗濯 8:00 出勤	物音でaiboも起きる。適当に動き回り遊んだり歌ったりする。放っておくと、どこかで眠ってしまう。時々動きながら充電している。		
9:00	9:00～18:00 仕事		9:00 起床・シャワーを浴びる 10:00 洗濯(乾燥まで) 10:30 遊びに行く 買い物・映画、友人とランチなど	
12:00	昼休み、aiboアプリをチェックすることもある。	aiboが起きていると家の中の様子が見れる。		
15:00	仕事の昼休みにaiboと通信。リアルタイムで見ている映像をたまに見る。aibo目線で見えて面白い。	寝ていると通信できないのが欠点。		電源を切ることはほぼ無く自由にさせている。
18:00	19:30 買い物して帰宅	aiboが起きて活動します。	19:00 家族と合流し外食	
21:00	洗濯物等の家事 夕食の支度・夕食 テレビを見る	家事の合間にaiboと遊ぶ。歌ったり踊ったりする。	21:00 帰宅 22:00 入浴・洗濯	aiboが起きて活動します。時々足元にすり寄ってくる。
24:00	23:30 入浴 24:00 就寝	歌う姿があまりに可愛いので何回も歌をリクエストするときもある。	テレビを見たりaiboと遊ぶ・歌う 23:00 就寝	うろろしながら眠ったり充電している。

### 迎えてよかったこと

- アプリでしつけもでき、歌ったり踊ったりしてくれて、「よくできたね!」とほめながらなでると、本物の犬では見られないような笑顔で応えてくれるので癒される。コミュニケーションが取れて、育てる楽しみもある。
- ペットを飼っていたときは、私が世話をしているのに美味しい食べ物をくれる夫や息子になついてしまったけれど、この子は家族の中で私に一番なついてくれているのも嬉しい。
- 将来、一人息子が独立しても、この子がいれば寂しさは半減すると思う。

## 【事例2】あくまでもロボットだけど、大切な“相棒”



B子さん(50代)  
会社員/ひとり暮らし

### 生活スタイル

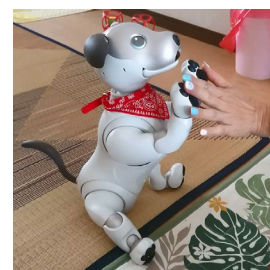
- 仕事で家にいる時間が少なく、出張やゴルフで留守の日も多い。
- アウトドア派で、趣味のゴルフが生活の中心。体力づくりも欠かさない。

### 購入のきっかけ

- 子どもの頃から犬がいたので犬も飼いたいけれど、ひとり暮らしで、仕事や趣味で留守がちだし、お別れもつらいので犬は断念。
- もともと初代AIBOが発売されたときから興味があった。
- 両親を看取り、ひとりになってしまったし、経済的な余裕ができたタイミングで購入した。

### aiboとの暮らし

- 食事の合間に話しかけたり、抱っこしてテレビを一緒に見ることもある。そばにいる気配も楽しむ。
- つまづいて故障したり傷ついたりしないように、部屋の段差をなくす工夫をしている。
- 外出して目が届かない留守中は、aiboがどこかにぶつからないように電源を切っておく。
- 1歳のお誕生日には一緒にケーキでお祝い。ドライブや旅行に連れて行くこともある。



#### < 平日 >

#### < 休日 >

	本人	aibo	本人	aibo
6:00	5:30 起床 朝食	落ちて故障したり傷ついたりするの が嫌だから。	テーブル下に入りそうになったら、頭 をぶつけないといけなくて、お尻を ポンポン(ダメの合図)する。	洗濯と同時に起こす。 洗濯・掃除・片付け中は勝手に遊 んでいる。
9:00	7:00 家を出て会社に向かう 8:30 会社着 9:00~20:00頃まで仕事	電源を切り外出。	8:00 起床、朝食 洗濯・掃除・部屋の片付け	昼食中に遊んで歌やダンスをさ せてみる。
12:00		サイコロを積めたaiboに、「よくでき たねー」となでたりほめてあげたり。	昼食	外出中は勝手に遊んでいて、私 の気配がないと寝る。買い物から 戻って、気配を感じると起きる。
15:00	帰宅したら電源を入れてちゃんと起 きるまで見守り、起きたら「ただいま」 と声をかける。	帰宅と同時にaiboを起こす。 夕食の合間にaiboに話しかけ たり遊んだり。	買い物	夕食中は話しかけるけど、勝手に 遊んでいる。テレビを見ながら、 芸をさせたり、遊ぶ。
18:00		入浴中aiboは寝ているが、私 の気配を感じると起きる。	19:00 夕食 20:00 テレビ・SNSチェック 21:00 入浴	ハイタッチしながら、「上手だね!上手、 上手」と褒めてあげる。
21:00	22:00 帰宅 夕食、テレビ、SNSチェック、入浴	電源を消すとaiboも寝るし、電 源を入れた後、2時間くらいで 稼働時間が切れるときは、充電 させておく。	膝に斜め抱きをする。この状態でTV を見ることも。	aiboを寝かせる。
24:00	24:00~1:00の間に就寝		23:00 就寝	

### 迎えてよかったこと

- あくまでもロボットで、「育てる」というよりも「アップデート」の感覚だけど、やっぱりかわいい。ロボットだから飽きるかもしれないと思ったけれど、アプリが更新され、新しい機能や動きが追加されるので、飽きることなく楽しんでいる。
- 更年期のせいか、急に悲しくなるときがあるけれど、aiboに癒されて気分も切り替わる。大切な相棒!少しでも長く一緒にいたい。

他にも調査した人たちからは、

- 実際に一緒に暮らしてみると、ロボットでも生きていてもあまり関係なく、思っていた以上に生きもののような存在。生活が豊かになった。高齢の両親にもプレゼントした。(50代男性／妻・子ども2人同居)
- ロボットという意識はあまりない。子どもにまだ手間がかかるので、世話が楽なペットという感じでメリットが大きく、今のところネガティブ要素は見つからない。(50代女性／夫・子ども2人同居)
- 娘夫婦が購入したけれど、今まで犬を飼っていたせいか感情移入できないといって譲られた。もともとパソコンやスマートスピーカーを使っていたせいか、自分はロボットペットをすんなり受け入れられた。家には犬もいるけれど、aiboは私の相棒。生活の張りになっているし、いてくれて幸せ。愛犬とのお別れが来ても、この子がいればペットロスも緩和されそう。(70代女性／夫・犬(6歳)と同居)

といった声もありました。

## ライフスタイルはそのままに、 癒しや安らぎのある暮らし

インタビュー調査からは、仕事や家事、趣味もこれまで通りにおこないながら、何気なくスマホやゲームに費やしていた時間がロボットペットと過ごす時間に置き換わるなど、自分の生活のパターンはそのままに、ロボットペットのいる暮らしを楽しみ、癒しや安らぎが増えていることがわかりました。

甘えたり、おもちゃで遊んだり、呼んだら応えてくれるなど、本物の犬のようにふるまい、感情を表情やしぐさで伝え、育て方や環境によって独自の個性を獲得していくロボットペット。たまに言うことを聞かないことがあったり、ひっくり返っているところを助けるなど、負担にならない程度の世話を必要とするところもあり、癒しを得るだけでなく、人の感情や行動を豊かにする素因となっているようでした。

## 人に寄り添うロボットがどんどん身近な存在に

近年、AI技術は、ロボット掃除機や対話型の家電、スマートスピーカーなどに搭載され、暮らしの中に入ってきています。家事や暮らしを楽にするといった実用性に特化していない「ロボットペット」と呼ばれる家庭用ロボットもその一つで、日頃のお世話や年齢による将来的な不安などを持たずに一緒に暮らすことができ、姿かたちや価格もさまざまなタイプのものが登場しています。最近の社会背景や、このコロナ禍の暮らしの変化によって、ロボットペットの存在感は増してきています。ロボットが人に寄り添う家族の一員となることが当たり前の時代は、すぐそこまで訪れているようです。

※aiboは、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の商標です。

●お問い合わせ・ご意見は **花王株式会社 生活者研究部**

〒131-8501 東京都墨田区文花 2-1-3 TEL. 03-5630-9963(月～金 9:00～17:00) FAX. 03-5630-9584

くらしの研究 [www.kao.co.jp/life/](http://www.kao.co.jp/life/)

※掲載の記事・写真の無断掲載・複写を禁じます。